

平成29年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	医薬品適正使用推進事業			担当部局庁	医薬・生活衛生局		作成責任者		
事業開始年度	昭和50年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課		課長 辺見 聡		
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	薬事法の一部を改正する法律案に対する附帯決議(平成16年5月13日 参・厚生労働委員会)				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医薬分業の推進及び医学・薬学の変化に伴う薬剤師が具備すべき知識技能の養成について検討する。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	1. 毎年10月17日からの一週間を「薬と健康の週間」として、医薬品及び薬剤師の役割に関する正しい知識の普及啓発を実施 2. 地方自治体及び各都道府県薬剤師会の医薬分業担当者に対する「医薬分業指導者協議会」の開催 3. 行政処分を受けた薬剤師を対象とした再教育研修事業								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
	予算の状況	当初予算	20	22	21	21			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		20	22	21	21	0		
	執行額		16	21	20				
執行率(%)		80%	95%	95%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		80%	95%	95%					
平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	医薬品審査等業務庁費	14							
	庁費	5							
	職員旅費	1							
	委員等旅費	0.5							
	諸謝金	0.5							
	計	21	0						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 29年度
	医薬分業率の向上	医薬分業の推進については医薬分業率(全国・地域別)が前年度以上(／毎年度)であること。	成果実績	%	68.7	70	集計中	-	-
			目標値	%	67	68.7	70	-	28年実績以上
			達成度	%	102.5	101.9	集計中	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	処方せん受取率の推計「全保険(社保+国保+後期高齢者)」(公益社団法人 日本薬剤師会)								
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	啓発資材配布数(ポスター)	活動実績	部	57,463	58,537	58,630	-	-	
		当初見込み	部	44,000	58,000	58,000	58,000	58,000	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	啓発資材配布数(リーフレット)	活動実績	部	97,080	97,130	98,260	-	-	
		当初見込み	部	176,000	97,000	97,000	97,000	97,000	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	活動実績	当初見込み							
医薬分業指導者協議会開催回数	活動実績	回	回	1	1	1	-	-	
	当初見込み	回	回	1	7	1	1	1	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	X:「事業の執行額」(円) / Y:「啓発資材部数」(部)	単位当たり コスト					円	円	32
		計算式	X / Y		4,933,528 / 154,543	3,106,290 / 155,667	5,068,763 / 156,890	6,226,000 / 155,000	
政策評価、 経済・財政再生 アクション・プログラムとの関係	政策	品質・有効性・安全性の高い医薬品・医療機器・再生医療等製品を国民が適切に利用できるようにすること(I - 6)							
		医薬品の適正使用を推進すること(I - 6 - 3)							
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標年度
								-	-
				実績値	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	厚生労働省、都道府県、日本薬剤師会及び都道府県薬剤師会の主催で実施する「薬と健康の週間」(毎年10月17日～23日)において、医薬分業の趣旨を盛り込んだポスター及びリーフレットを作成・配布し、医薬品及び薬剤師の役割に関する正しい知識を広く国民に浸透させることにより、保健衛生の維持向上に寄与する。								
	改革項目	分野:	-						
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標
			-	-		-			-
			成果実績	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度	
				-			-	-	-
			成果実績	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									
事業所管部局による点検・改善									
国費投入の 必要性	項目			評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	本事業は、医薬分業の推進及び医学・薬学の変化に伴う薬剤師が具備すべき知識技能の養成について検討することにより、国民の保健衛生や維持向上に寄与するものであることから、国民や社会のニーズを的確に反映している。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	薬剤師の再教育研修や医薬分業推進に関する事業であり、国が実施すべき事業である。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	医薬分業の推進や薬剤師の知識技能の養成を目的とする事業であり、優先度の高い事業である。				
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	おおむね随意契約(少額)であるが、業務内容や価格を考慮し、最適な業者を選定している。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無					
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	支出は本事業に必要なものに限定されており、単位当たりコストの水準は妥当である。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	費目・使途は、事業目的のために必要なものに限定されている。				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-	-					
事業の 有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	成果実績は目標を上回っており、成果目標に見合ったものとなっている。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	おおむね見込みに見合ったものとなっている。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	ポスターやリーフレットは、都道府県や関係法人に配布し、活用されている。				
関連	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-				

事業	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	医薬分業率は年々上昇しており、本事業の取組は医薬分業の推進に寄与していると考えられる。今後、さらに医薬分業を定着させるため、その質を向上させる施策について充実させていく必要がある。	
	改善の方向性	医薬分業等の推進に必要な経費であり、執行状況等を精査し、適切な予算を措置する。	

外部有識者の所見

--

行政事業レビュー推進チームの所見

--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

--

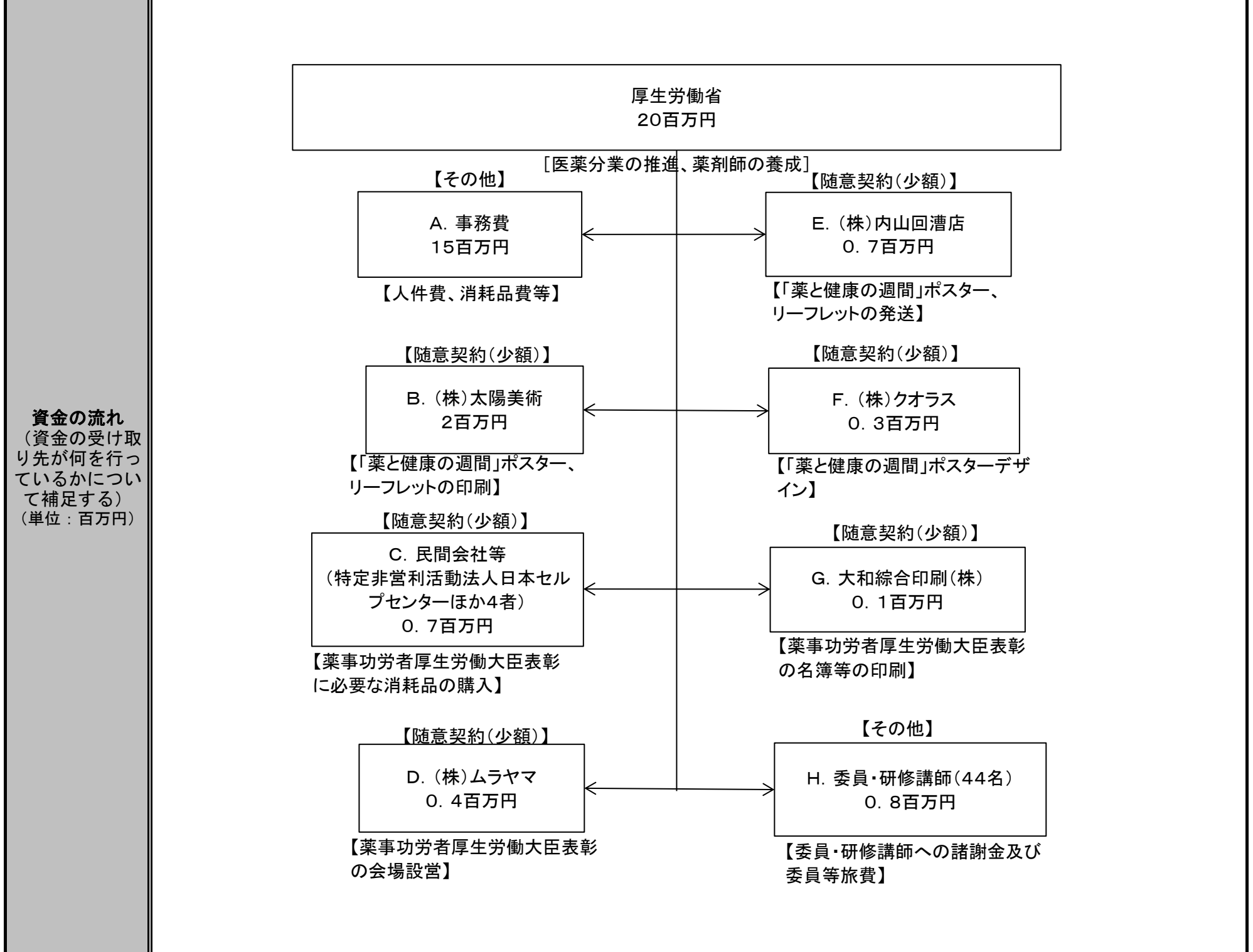
備考

--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	348	平成23年度	197	平成24年度	166	
平成25年度	193	平成26年度	207	平成27年度	216	
平成28年度	215					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・用途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.非常勤職員A			B.(株)太陽美術		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
賃金	事務補助業務		4	印刷製本費	「薬と健康の週間」ポスター、リーフレットの印刷	2
計			4	計		2

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	非常勤職員A	-	事務補助業務(賃金)	4	その他	-	-	
2	(有)タケマエ	3010002049767	業務に必要な消耗品等(トナーカートリッジや事務机等)の購入	3	随意契約(少額)	-	100%	
3	非常勤職員B	-	事務補助業務(賃金)	2	その他	-	-	
4	ヤマト運輸(株)	1010001092605	通信運搬業務	1	一般競争契約(最低価格)	2	65.7%	
5	東日本電信電話(株)	8011101028104	電話料金(長期継続契約)	0.8	その他	-	-	
6	(株)アンテリオ	3010001109134	OTC市場規模推移レポート提供業務	0.6	随意契約(少額)	-	100%	
7	(株)じほう	8010001031283	日刊薬業の受信及びメディアファックスの利用料	0.5	随意契約(少額)	-	100%	
8	非常勤職員C	-	事務補助業務(賃金)	0.5	その他	-	-	
9	キャノンマーケティングジャパン(株)	5010401008297	複写機の保守及び物件に必要な消耗品の供給業務	0.4	随意契約(少額)	-	100%	
10	(株)NTTドコモ	1010001067912	公用携帯電話料金(長期継続契約)	0.3	その他	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)太陽美術	1011001013468	「薬と健康の週間」ポスター、リーフレットの印刷	2	随意契約(少額)	-	100%	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	特定非営利活動法人日本セルフセンター	2011105001632	薬事功労者厚生労働大臣表彰の記念品の購入	0.3	随意契約(少額)	-	100%	
2	(株)オオニシ	-	薬事功労者厚生労働大臣表彰の写真の購入	0.2	随意契約(少額)	-	100%	
3	(有)タケマエ	3010002049767	薬事功労者厚生労働大臣表彰に必要な消耗品の購入	0.1	随意契約(少額)	-	100%	
4	(株)ミクニ商会	1010001030093	薬事功労者厚生労働大臣表彰に必要な消耗品の購入	0.1	随意契約(少額)	-	100%	
5	(独)国立印刷局	6010405003434	薬事功労者厚生労働大臣表彰の表彰状用紙の購入	0	随意契約(少額)	-	100%	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)ムラヤマ	4010001131418	薬事功労者厚生労働大臣表彰式の会場設営業務	0.4	随意契約(少額)	-	100%	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)内山回漕店	7010001011328	「薬と健康の週間」ポスター、リーフレットの発送業務	0.7	随意契約(少額)	-	100%	

